

[okazaki_128]

活動タイトル	DIALOGUE FOR TOMORROW
実施日	2021年6月26日
場所	せんとぴゅあ コミュニティホール（東川町）
対象数	11人
内容	<p>映画「TOMORROW-パーマネントライフを探して-」を題材に対話する会、「DIALOGUE FOR TOMORROW」の3回目に、ゲストとして参加しました。主催は、自然卵養鶏と米作を行っている「ファームレラ」と、大人のための学び舎づくりを行っている「Compath」さん。</p> <p>映画は、2012年に学術雑誌ネイチャーに掲載された、21人の科学者たちによる「私たちが今のライフスタイルを続ければ、人類は滅亡する」という論文に衝撃を受けた監督たちが、未来のために解決策を求めて新しい暮らしを始めている人々を訪ねていくものです。2015年に公開された約2時間の映画は、「食・教育・エネルギー・経済・民主主義」の5テーマに分かれており、「MOVIE DIALOGUE」では、3月から8月にかけて20分程度の各パートを鑑賞しながら、参加者で対話を行っています。</p> <p>今回は、「ENERGY（エネルギー）」をテーマにした回でした。映画では、カーボンニュートラルを目指すコペンハーゲン、水力発電や地熱エネルギーなどの再生可能エネルギーを使うアイスランドのレイキャビク、ソーラーシェアリングを行っているフランスのレユニオン島、ゼロ・ウェイストに取り組むサンフランシスコが紹介されていました。</p> <p>私は、補足として、映画が撮られた時点以降のトピックスとして、パリ協定やカーボンバジェットについてと、今は、日本や各自治体でも、2050年のカーボンニュートラルを目指していることなどを伝えました。その後、Compathの安井さんをモデレーターに、1988年から、持続可能な社会を目指した活動をしているファームレラの新田由憲さんと私とが、それぞれの取組のきっかけや続けている理由を話しました。また、私は、メーカーによる待機電力削減の取組や省エネ性能ラベルの推進には、市民の取組が大きかったことなども伝えました。</p> <p>最後は、参加者同士の対話の時間で、東川町を持続可能なまちにしていくためのいろいろなアイデアが話されました。お話の中で、家のブレーカーの話が出たので、契約アンペアや回路、コンセントの上限と、家電の消費電力や使い方について、お伝えしました。</p> <p>ふだんは、省エネに関する情報提供の講座を行うことが多く、今回は、いつもとはかなり違う役割だったので、主催者の方々と3回打合せを行ったほか、どのようなことを話すと、参加者の皆さんの役に立てるのか、何度も映画を見たり、いろいろ調べたりして当日に臨みました。当日は、主催者の方々の丁寧な進行や、参加者の方々の</p>

積極的なお話で、とても良い時間となり、内容・進行両面で、私にとっても学ぶことが多い機会となり、ありがたかったです。

配付資料：EE ミニガイド（北海道グリーンファンド作成）

実施写真等

